

塩 冶 町 の 歴 史 年 表



時	塩 冶 の で き ご と		日 本 の あ ゆ み	
縄文時代		・出雲平野に人が住み始める	・土器づくりがはじまる	
弥生時代	1世紀	・塩冶地方にも、数か所に小さな集落がつくられる。 ・中期になると、西日本で銅剣・銅矛が近畿地方で銅鐸などが作られるようになった。このころ出雲では、多くの青銅器を所有する大勢力があった。(荒神谷遺跡) <矢野遺跡や天神遺跡は、この時代の人々が生活していたあとである。>	 銅剣	・米作りがはじまる
古墳時代	6世紀	・出雲平野の南部丘陵部に、古墳がつくられる。 ・塩冶が早くから地方文化の一中心地であったことをものがたる。 上塩冶築山古墳 上塩冶地藏山古墳 ・後期末には、多くの横穴(庶民のはか)が作られる。 半分の三田谷や現在の出雲工業高校の丘陵と、その東の谷になる大井谷など、100穴をこえる。	239 卑弥呼、魏国に使者を送る 大和朝廷でできる。 604 聖徳太子が十七条の憲法を定める。 645 大化の改新 701 大宝律令でできる。	
奈良時代		・このころ、塩冶神社がまつられる。 733 「出雲国風土記」ができる。 ・現在の塩冶地区には、少なくとも2500人が住んでおり、ほとんど農民だった。 ・農作物には、水稻・麦・アワ・ヒエ・キビ・豆・麻・桑などあった。 781 ・神門寺が立つ。	710 平城京に都をうつす。 一口メモ ・このころ神戸川には、アユ・マス・ウグイなどがいたようだ。	

平安時代			794	平安京に都をうつす。
	814	・吉祥姫の伝説 ・出雲伴囚の反乱が起こる。	939	平将門の乱
	1184	・源平一の谷戦いに朝山氏・塩冶の大夫ら、平家に味方し、参戦する。	1016 藤原道真摂政となる。 1156 保元の乱 1159 平治の乱	
鎌倉時代	1225	・佐々木義清が出雲国守護となる。・義清の孫、頼泰、塩冶郷内に城をかまえ、地名をとって塩冶頼泰と名乗る。・頼泰は、塩冶神社に宇佐八幡宮から八幡神を分岐し、守護神とする	1192	源頼朝が鎌倉幕府を開く
	1278		1221	承久の乱
	1326		1232	御成敗式目ができる。
室町時代	1341	・高貞は、足利尊氏にしたがい手がらがあつたため、大きないきおいがあつた。 ・塩冶高貞、高師直との争いにやぶれほろぼされる。・ここでは、塩冶郷内に本拠をおいていた守護家はたえる。 ・山名時氏が守護に補任される。・しかし塩冶では高貞の弟、時綱が塩冶氏の惣領となり、その弟子がかつやくする。(塩冶貞慶が塩冶の地を去るまで続く・尼子経久が、出雲国の他 10 か国の大守となる。・経久は、三男興久を出雲国西方のそなえとして塩冶におく。	1333	鎌倉幕府がほろぶ。 足利尊氏が室町幕府をひらく。
	1561		1392	 足利尊氏像 南北朝が統一される。 鉄ぼうが伝わる。 キリスト教が伝わる。
	1566		1549	室町幕府がほろぶ。

安土・桃山時代	1578・小早川隆景、天神社を再興する。 1600・堀尾義晴が、出雲の領主として富田城(広瀬)に入る。	1576・織田信長が安土城をつくる。 1590 豊臣秀吉が全国を統一する。 1600 関ヶ原の合戦がおこる。
江戸時代	10年にわたり、松江に城をつくり、1610年完成させる。  1634・京極忠高が松江城主となる。 ・1635年の出雲こう水(斐伊川)のあとの治水や塩冶神社の加増・修葺などに力をいれる。 1635・大こう水のため、斐伊川は宍道湖へも流れるようになる。(1639年、完全に東へ流れるようになる。) 1638 松平直政が松江藩主となる。 ・それから明治になるまでの230余年間は松平氏がおさめる。 ・塩冶地方に農業用水を引くため、妙仙寺川がつくられる。 1650 間府川がつくられる。 1687 高瀬川がつくられる。	1603 徳川家康が江戸幕府をひらく。  徳川家康 1615 豊臣氏がほろぶ。 1637 島原の乱。 1639 鎖国が始まる。  ペリー 1853 ペリーが浦賀にくる。 1858 日米修好通商条約をむすぶ。 1868 明治維新(江戸幕府ほろぶ)
	1871・島根県の家数77,498軒、人口340,042人が78区に分けられ、塩冶は第38区となる。 第38区・・・下塩冶・塩冶町・渡橋・天神・下横東園・西園・外園の8町村 第46区・・・今市村・今市町・上塩冶の3町村 1873・神戸川の古志橋上流の土手が切れ、天神一帯が水びたしとなる。 1889 上塩冶・下塩冶・天神を合わせて、塩冶村となる。	 伊藤博文 1889 大日本帝国憲法が公布される。

明治時代

1907 ・農事試験場が下塩冶へうつされる。

1910 ・山陰線、出雲・京都間が開通する。



1894 日清戦争が始まる。

1904 日露戦争が始まる。



日清戦争

大正時代

1912 ・県立原蚕種製造所が平田より下塩冶へうつされる。

1922 ・郡是製糸株式会社の分工場が、塩冶町高西につくられる。

・県立原蚕製造所から、蚕業試験場へ名前がかわる。

1926 (T15) ・公設消防組ができる。
・その後、7つの私設消防組(北天神・南天神・半分・義勇・弓原・高西・玉津)もできる。

1928 (S3) ・弓原に桜並木ができる。



1932 ・大社宮島鉄道、出雲今市・出雲須佐(佐田町)間が開通する。

1934 ・県立今市農業学校(現在の県立農林高等学校校)が塩冶村大字天神へうつされる。

1938 ・大社宮島鉄道から、出雲鉄道へ名前がかわる

1939 大かんぱつ

1940 簗川郡中央青年学校(第二中学校の前進)ができる。

1941 ・2月に出雲町が誕生する。(塩冶村の廃止)
・今市町・大津町・四絡村・高浜村・川跡村・高松村・古志村・鷹巣村の9町村が合わさって、島根県簗川郡出雲町となる。

1914 第一次世界大戦がおこる。

1918 全国に米騒動がおこる。

1925 普通選挙法ができる。



1931 満州事変がおこる。



1937 日中戦争が始まる。

1939 第二次世界大戦が始まる。

1941 太平洋戦争が始まる。

・11月には、島根県簸川郡出雲町が島根県出雲市となる。

1943
(S18)

・大水害
・神戸川朝山村馬木のていぼうと、古志橋上流のていぼうがこわれ、塩冶町に非常対策本部がおかれた。また、下塩冶妙伝寺と塩冶国民学校がひなん場所となった。

・大井谷の上の池がつくられる。

1945 太平洋戦争が終わる。

1946 日本国憲法ができる。

1947 学制が6・3・3制となる。

1951 平和条約が結ばれる。

1953 塩冶公民館ができる。「いろは公民館」とよばれる。



1954 出雲鉄道は、一畑電鉄と一つになり一畑電鉄立久恵線とよばれるようになる。

1956 日本が国際連合に加盟する。

1963 県立出雲工業高校が天津町から半分へうつされる。

・豪雪(38豪雪)

1964 大水害

1964 東京オリンピックが開かれる。

1965 一畑電鉄立久恵線なくなる。

1966 上塩冶菅沢工区土地改良工事が始まる。
(S41)

1970 海上土地地区整理事業が始まる。

1972 学校給食センターができる。

1972 沖縄が、日本に復帰する。

1974 農事試験場と蚕業試験場が一つになり、農事試験場となる。

・農事試験場が天神町から市内芦渡町へうつされる。

1975 島根医科大学開学(天津町)

1976 県立出雲農林高校が、天神町下横町へうつされる。



沖縄

1977 島根医科大学が天津町より塩冶の新校舎へうつされる。
(S52)

・サイクリングターミナルが塩冶有原町にできる。

	・出雲児童図書館が塩冶有原町にできる。 ・塩冶神社の1250年祭が行われる。	1978 日中平和友好条約が結ばれる。
	1979 ・島根医科大学付属病院ができる。	
	1981 ・出雲市民会館が塩冶有原町にできる。	
	1982 ・斐伊川・神戸川治水計画が同意される。 (S57)	
	・島根県でくにびき国体がひらかれる。 ・出雲市では、バレーボール・ラグビー・ウェイトリフティング・高校野球が行われる。	
	1984 斐伊川・神戸川治水事業は、立ち入り調査・測量を終え、設計・協議へはいる。	
	1986 ・出雲第二中学校から浜山中学校が分離する。	
平成時代	1990 ・現在の塩冶公民館ができる。 (H2)	1992 毛利衛氏、宇宙へ行く
	1991 ・台風19号により、大きな被害をうける。	
	1992 ・出雲健康公園(出雲ドーム)ができる。	
	・県道出雲三次が、国道184号となる。 ・島根県出雲保健所が塩冶(医大の西)へうつされる。	
	1998 ・JR出雲市駅の高架が完成する。 (H10)	
	2003 ・島根医科大学と島根大学が統合する。	
	2005 ・新出雲市が誕生する。 (H17)	
	2006 ・土地区画整理事業により築山新町ができる。	
	2008 ・上塩冶築山遺跡で弥生時代の人面付土器、四基の円墳が発掘される。	
	2009 ・郷土誌「出雲塩冶誌」が発刊される。 (H21)	
		